

中高生夏のボランティア体験 このゆびとまれっ!

夏の思い出 2025



大和市民活動センター

INDEX

	ページ
ー 「このゆびとまれっ！」概要 と 活動内容	01
参加人数	02
活動スケジュール表	03
行事日程	04
受入団体での活動	
- NPO 法人 サポートハウス ワン・ピース	05
- 子育てほっとサロン「大和たんぽぽの会」	07
- デイサービス 愛の家 大和高座渋谷	10
- デイサービス ハッピー鶴間	12
- サウンドテーブルテニスクラブ	14
- 一般社団法人こども食堂プロジェクト at やまと (南ランチ)	16
- 一般社団法人こども食堂プロジェクト at やまと (北ランチ)	18
ー 終わりに	20

令和7年度 社会資源の創出・発信事業 (中高生夏のボランティア体験)

1. ねらい

中高生が持つ時間、知恵、技術を出し合い

社会に開けば それはみんなのもの「社会資源」になります。
市民の課題解決に中高生が関わる社会参加の第一歩として
実施します。

また、学校の先生や家族以外の「おとな」と親交を持ち
社会との関わり合いの多様性を認識することを目的とします。

2. 主な 対象

市内在住・在学の中学生・高校生

3. 協力団体

- ・ 一般社団法人 こども食堂プロジェクト at やまと
- ・ NPO 法人サポートハウス ワン・ピース
- ・ 子育てほっとサロン「大和たんぽぽの会」
- ・ サウンドテーブルテニスクラブ
- ・ デイサービス 愛の家 大和高座渋谷
- ・ デイサービス ハッピー鶴間

参加人数延べ 30 名 (登録 27 名、10 校)

高校生 25・中学生 5 (延べ)
オリエンテーション参加者 23 名

- NPO 法人 サポートハウス ワン・ピース 5 名 高校生 5 名
- 子育てほっとサロン「大和たんぽぽの会」 5 名 高校生 5 名
- デイサービス 愛の家大和高座渋谷 3 名 高校生 1 名
中学生 2 名
- デイサービス ハッピー鶴間 6 名 高校生 6 名
- サウンドテーブルテニスクラブ 4 名 高校生 2 名
中学生 2 名
- 一般社団法人こども食堂プロジェクト at やまと
(南ランチ) 4 名 高校生 4 名
- (北ランチ) 3 名 高校生 2 名
中学生 1 名

日時	場所	プログラム
7月19日(土) 14:00~16:00	< オリエンテーション > 大和市民活動センター (ベテルギウス 2階会議室)	・受付 プログラム冊子 ボランティア参加同意書:保護者 アンケート用紙の配付 ・受け入れ団体 内容説明・各コース紹介 ・各コースグループで打合せ・質疑応答
7月28日(月) ~8月8日(金) 8月18日(月)~ 8月29日(金) それぞれ数日OK 各日 2名~3名 14:00~16:30	NPO 法人サポートハウス ワン・ピース 場所: 下鶴間	※高校生のみのみ 放課後デイサービスのお手伝いと 一緒に遊びながら交流
8月4日(月) 18日(月) 13:00~16:00 各日3名~5名	子育てほっとサロン 「大和たんぽぽの会」 場所: 南林間	子育てサロンのお手伝い
8月6日(水) 13日(水) 20日(水) 27日(水) 14:00~16:00 各日 3名	デイサービス 愛の家 大和高座渋谷 場所: 高座渋谷	レクレーションとおやつ配膳のお手伝い
8月7日(金) 14日(金) 21日(金) 28日(金) 10:30~12:30 13:30~15:00	デイサービスハッピー鶴間 ※8月7日(木)午後のみ アロマハンドケアのお手伝い 場所: 西鶴間	レクレーションとおやつ配膳のお手伝い
8月11日(月) 18日(月) 13:00~16:00 各日3名	サウンドテーブルテニスクラブ 場所: 鶴間 大和市保健福祉センター	視覚障がい者の卓球練習のお手伝いと 交流
8月17日(日) 9:00~12:00	こども食堂プロジェクト at やまと (たまめし食堂 南ブランチ) 場所: 福田 カーサ ララ マリノ	こども食堂のお弁当作りのお手伝い
8月24日(日) 8:30~12:00	こども食堂プロジェクト at やまと (たまめし食堂 北ブランチ) 場所: 鶴間 チャイルドケア事務局	こども食堂のお弁当作りのお手伝い 物資の仕分けのお手伝い

行事スケジュール表

運営会議⇒	オリエンテーション⇒ *参加団体と打ち合わせ *保護者による活動同意書	実施活動期間⇒ *同伴者選考	活動報告 *活動証明書発行 *「賞状」 *「夏の思い出」冊子
-------	--	--------------------------	--

3月	★ 3/18	第1回 関連部門 合同「打合せ会議」
4月	4/30	合同チラシ 各関係部門インプット
5月		広報紙掲載紙面作成作業
6月	6/17	FMやまと出演 大和市社会福祉協議会ボランティアセンター つきみ野学習センター 大和市民活動センター
	6/23	中学校・高校 宛て 案内書・チラシ 配付
7月	7/1	「広報やまと」チラシ掲載
	7/19	オリエンテーション 活動許可書
	7/22	「ボランティア行事用保険」加入
8月		7/28 ~ 8/27 実施活動期間 (スタッフ同伴)
9月	9/6	交流会・反省会
	9/1~	「夏の思い出」冊子 発行
	8/25~	活動証明書 発行 「賞状」 発行

システムサポート

[登録](#) (受付順)

[受付](#) (活動希望)

[オリエンテーション](#)

[名前ラベル](#) (振り仮名)

[チェック](#) (誤入力訂正)

検索

[学校別](#)

[活動別](#)

[個人別](#)

[日付別](#)

[日程表](#)

[同行者一覧](#)

[名札](#)

[郵送ラベル](#)

[活動証明書](#)

[賞状](#)

[変更記録](#) (更新LOG)



裏方さんも お疲れさまでした♪

NPO 法人サポートハウス ワン・ピース

7月28日(月)・29日(火) 8月5日(火)・19日(火)



発達に課題を持つ子どもたちが学校が終わってから
来所する放課後等デイサービス事業所です。
“子どもたちに楽しくくつろげる場を”
“保護者にほっとできる時間を” 提供しています。



高校1年生 女子

● 体験してよかったこと

今まで私は障がいを持つ人と関わったことがなく、不安や抵抗を感じていましたが今回の体験でそれがなくなりました。また、子供たちと関わって私の方があたたかな気持ちになれました。

● 体験して大変だったこと

はじめはどうやって話しかければいいのか、どんなことをするのか小学生と高校生の壁を感じました。正直な所、それぞれ子の特性は理解できなかつたし、子供たちの方から声をかけてくれて助けられました。

● 体験して気づいたこと

このボランティアの経験前後にあった壁は私が思っている程 厚いものではないということです。経験したことがないという事実が壁を厚く感じさせているだけで、本来は違うことに気づいたので何事にもチャレンジしていこうとあらためて思いました！！



高校3年生 男子（計3回参加しました）

● 体験してよかったこと

- 1回目：ワン・ピースの子どもたちと仲良くできたこと。
- 2回目：前回よりも子どもたちと打ち解けてきた気がして良かった。
- 3回目：障害を持っている子どもに対する、普通の子どもとは違うという偏見をなくすことができた。

● 体験して大変だったこと

- 1回目：一緒に遊ぼうとしたけれど遊んでくれなかったこと。
- 2回目：まだ子どもとうまくコミュニケーションを取れない時があったということ。
- 3回目：子どもの意図がなかなか読めず、コミュニケーションを取るのが難しかった。

● 体験して気づいたこと

- 1回目：障害をもっている、一緒に楽しく遊んでくれるということ。
- 2回目：子どもによって好きなことややりたいことが大きく違うということ。
- 3回目：障害がある子どもでも普通の子どもとほとんど変わりなくコミュニケーションを取れていた。



子育てほっとサロン 「大和たんぽぽの会」 8月4日(月)・18日(月)



子育て中の多忙な保護者が、安心して「ホッと」できる子育てほっとサロン「たんぽぽ」を開催
親子がゆったりくつろげる場の提供/育児相談/子ども同士の交流/じいじ・ばあばもOK



高校2年生 女子

● 体験してよかったこと

園児の子たちと関わる機会が少ないので一緒に遊んだり、工作することで楽しく過ごせたのが良かったです。小さい子との接し方を学びました。

● 体験して大変だったこと

初対面なので緊張をほぐすのに少し時間がかかり大変でした。玩具も同じ遊びだと飽きてしまうので限られた玩具の中で工夫して違う遊び方を考えてやるのが少し大変でしたが、楽しんでくれて良かったです。

● 体験して気づいたこと

人見知りの子や緊張している子でも優しく話しかけることで距離が縮まるということが分かりました。また、少人数なのでとても接しやすく、園児の子たちの笑顔も見れてとても良い雰囲気のところだと感じました。このような地域人同士が集まれるスペースは子どもだけでなく、大人にとっても良い空間で、必要であると思いました。



高校2年生 女子

● 体験してよかったこと

今まで一人のこどもとしっかり向き合って遊ぶことがなかったので体験できて良かったです。

● 体験して大変だったこと

話しかけるタイミングや遊びにまじるタイミングが難しかったなと感じました。

● 体験して気づいたこと

少人数でゆったりとした空間で保護者の方も子どももリラックスして楽しくしていらして、私たちボランティアやスタッフさんの雰囲気がとても大事ななと思いました。



高校2年生 女子

● 体験してよかったこと

人見知りの子が どうしたら心を開いてくれるかや、子どもがどうしたら一緒に遊んでくれるかなどを考える場があったり、そのためにどんな工夫（絵本の読み聞かせの仕方や遊び方など）をしているかを知ることができたりしたので良かった。

● 体験して大変だったこと

お母さんのそばにいて離れない子を どうしたら、楽しませてあげられるかを考えたり、どんなことに興味があるのかを探ったりすることが難しかった。

● 体験して気づいたこと

言葉だけを直接教えるのは大変だが、遊びながら教えてあげると、子供も楽しんで言葉を覚えることがきるとわかった。また、子どもが遊んでいるときには想像力を働かせているため、それを邪魔しないように一緒に遊ぶことが大切だと感じた。子育てはほんとサロンは 子供の遊び場だけでなく、大人の交流の場でもあるので、子育てについて共有する場があるのは良いと思った。

高校2年生 女子

● 体験してよかったこと

絵本の読み聞かせをしていただいたときに、絵本は文字を覚える前の方が楽しめるかと教わりました。実際、絵に注目して読み聞かせを聞いていると絵の細かいところまで、前のページと絵がつながっているなどの工夫が見つかることができ良かったです。

● 体験して大変だったこと

最初、何に興味を持って、どんなことが楽しいと思うのか全然分かりませんでした。そのため、自分は何をすればいいのか困って大変でした。

● 体験して気づいたこと

初対面でも一緒に遊んだり、おしゃべりしたりすることで、楽しい時間を共有できることに気づくことができました。いろいろな世代の人と一緒に話す機会があまりなかったので様々な視点や、普段関わりの少ない話題もあって面白かったです。

貴重な体験ができました。 ありがとうございます。



高校3年生 女子

● 体験してよかったこと

たんぼぼの会がどのような思いで運営しているのかを知り、地域の人にもっと広まって欲しいと強く感じました。そして、小さい子どもに対し どういう立ち回りをしたら良いかなど実際に行かなければ分からないことも 沢山知ることができました。

● 体験して大変だったこと

1歳の子とは言葉が通じないということもあり、何で遊ぶのか、何で喜んでくれるのかわからず、対応が特に難しく感じた。6歳くらいになると動き回ったり、沢山話したりできるようになるため 私たち側も体力を大分消費した様に思いました。

● 体験して気づいたこと

18日は1歳の子ども1人と年長の子ども2人がたんぼぼに来ていました。子どもといっても年齢によって全然感じることや伝えたいことも異なり、数年違うだけでもこんなに違うことに驚きました。またこのような場所があることによって石川さんが言っていた通り 世代間交流ができたり、お母さんお父さん、おばあちゃんなど様々な人が休むことができるということは地域交流が希薄化していく中でとても良いことだと感じました。

デイサービス愛の家 大和高座渋谷

8月6日(水)・13日(水)・20日(水)・27日(水)



高齢者のみなさんが、自分らしく生活するための総合支援を行っています。
認知症専門のグループホーム/ 社会環境づくり/ 認知症教育の出前授業/ 生活環境・医療と介護の連携など。



中学3年生 女子(1回目)

● 体験してよかったこと

普段料理をしてないので、この機会に少し上達できてよかったです。
高齢者の方とあまり関わる機会が無いので、お話しして少し仲良くなれたのでよかったです。

● 体験して大変だったこと

料理をあまりしないことも相まって、なかなか思うようにいかず、難しかったです。
高齢者の方と関わってみて、共通の話題を考えることに苦戦しました。

● 体験して気づいたこと

高齢者の方の身体が衰えることは知っていましたが、思ったよりも個人差があることに気づきました。
逆に全然衰えを感じない方がいて驚きました。





中学3年生 女子（2回目）

- 体験してよかったこと

前回よりも、高齢者の方と話す機会が多かったので、それを機により仲良くなれて良かったです。また、お話ししていく中で、施設の生活について感じていることを聴けて良かったです。

- 体験して大変だったこと

お話ししていくと、想像していたよりもすぐに会話を忘れてしまうので大変でした。また聴力の弱い方と話していると、聞き返されることが多く、声量の調整が難しかったです。

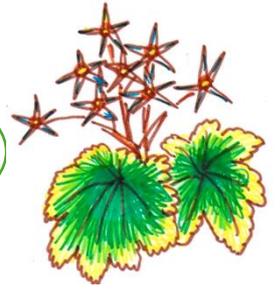
- 体験して気づいたこと

紅茶を出す準備をしていると、飲みやすくするためのものを混ぜているところを見かけました。それについて話を聞いて、誤嚥による肺炎を防ぐためと知りました。誤嚥は食べ物のイメージが強かったので、飲み物でもなることが意外でした。



デイサービス ハッピー鶴間

8月7日(金)・14日(金)・21日(金)・28日(金)



利用者みなさんが、自立した日常生活を営み、利用者のご家族の負担を軽減することを目標とした事業を行っています。また、利用者のご家族に対して介護方法の指導実施、地域や医療・福祉サービス連携などの支援に取り組んでいます。

高校3年生 女子

● 体験してよかったこと

デイサービスではどのようなことが行われているのか、実際に体験しながら知ることができて良かったです。私自身ボランティア活動が初めてだったので、とても良い経験になりました。

● 体験して大変だったこと

自分から話を始めることや話を広げることがあまり得意ではないので、会話の面で苦戦しました。

● 体験して気づいたこと

トランプをしていて順番を決める際にじゃんけんで決めようとしたタイミングがあり、上手くいかなかったのですが、その後の体操の時間で手の運動をするのを見て、グーチョキパーがすぐに出にくい方もいることを知りました。



高校3年生 女子

● 体験してよかったこと

2回目のボランティアで、前回よりも楽しく会話することができました。また、遊んだことのないゲーム（五目並べ）を教えて頂けたことが良かったです。最後には笑顔で手を振って送り出してくださって嬉しかったです。

● 体験して大変だったこと

利用者様のお話が上手く聞き取れないことがありました。

● 体験して気づいたこと

ゲームをする際に、次の番の人の名前を呼んであげることで進みやすくなるのだなと学びがありました。



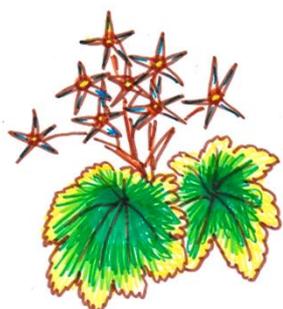
高校3年生 女子

- 体験してよかったこと
色々なことを経験してきた人たちと 様々な話をすることができたこと。
- 体験して大変だったこと
ご老人の方々だったので、時々何を話しているか聞きとれなかったこと。
- 体験して気づいたこと
久しぶりにたくさんのお年寄りの方と関わってみて、皆それぞれ 自分の趣味や やりたいことを 同じサービスを受ける仲間の人たちや 私たちボランティアの人たちと一緒に楽しく取り組んでいました。
私も将来 おばあさんになった後でも 好きなことをしながら生きられる人になろうと思いました。



サウンドテーブルテニスクラブ

8月11日(月)・18日(月)



視覚障がいを持つ方が、障がいのある仲間やボランティアのみなさんと、サウンドテーブルテニスを通じて、親睦を深めることを目的とした活動を行っています。

視覚障がい者卓球の普及に努めると共に、ゲームを楽しみながら、各種大会への出場を目標にがんばっています。



高校1年生 男子

● 体験してよかったこと

普段、視覚障害者の方と関わるができる機会はあまりないので、スポーツを通して会話したり、誘導の仕方を知ることができ、とても勉強になりました。あとサウンドテーブルテニスがとてもおもしろかったです。

● 体験して大変だったこと

誘導が自分が見えていても、相手は見えていないということだから、大きな声で話したり、指でさしたり、うなずいたりするのでは通じないというところが日常と少し違い、大変でした。

● 体験して気づいたこと

今回の体験を通して、視覚のみに限らず、障害を持っている方も、そうでない方も、協力してこのような企画ができていることに、少し感動しました。



中学1年生 男子

- 体験してよかったこと
日常では、目の見えない人と、関わることは、ないけれど今回のサウンドテーブルテニスクラブで、関わる事ができて良かったこと。
- 体験して大変だったこと
目の見えない人をゆうどうすること。
- 体験して気づいたこと
いつもの卓球のラケットではなく、ちがうラケットを使っていたこと。



中学2年生 男子

- 体験してよかったこと
サウンドテーブルテニスを体験できて良かったです。
- 体験して大変だったこと
その都度一人ひとり卓球台まで連れていくこと。
- 体験して気づいたこと
全盲の人なのに たくさん動いていておどろきました。

一般社団法人 こども食堂プロジェクト at やまと (たまめし食堂 南ランチ)

8月17日(日)



こども食堂 “たまめし食堂 南ランチ” 運営活動。毎月第3日曜日 いろいろな生きづらさを抱えた子ども達に、身近な大人として 子どもたちの頼れる存在になる事を目的とて活動されています。



高校1年生 女子

- 体験してよかったこと
様々な人と交流できたこと。
- 体験して大変だったこと
大変だったということではないのですが、素早く丁寧に作業することを心がけました。
- 体験して気づいたこと
社会の役に立っていると実感したこと。



高校3年生 女子

- 体験してよかったこと
お弁当を作るのに たくさんの労力をかけていることを知ってスーパーに売っているお弁当などにも感謝しながら食べようと思えました。
- 体験して大変だったこと
枝豆を一粒一粒出していくのが地味な作業で大変でした。
- 体験して気づいたこと
ご飯をお弁当に入れる時に全員でそれぞれの役割を分担し、協力してできて、団結して一つのことをするすばらしさを身にしみて感じました。

高校2年生 女子

- 体験してよかったこと

同学年や部活、学校以外の学生や大人と一緒に活動できたことです。普段は中々学校以外の人と関わることがないし、あまり関わりのない世代の方と活動できたのはとても良い経験になりました。

- 体験して大変だったこと

作ったものを均等に詰めるのが大変でした。ごはんは計っていたけれど、中華サラダなどは目分量だったので大変でした。

- 体験して気づいたこと

お弁当を必要としている人が思ったよりも多くいるんだなと思いました。また48食分つくるには多くの食材が必要だったんだと思いました。

すごく良い経験になりました。本当にありがとうございました。

またこのボランティアに参加したいです。



高校3年生 女子

- 体験してよかったこと

地域の方の集まるコミュニティーと一緒にボランティア活動が出来て良かったです。

- 体験して大変だったこと

皆で手分けして行う上で自分からやることを探すのが大変でした。えだまめ取り出す作業も意外と大変でした。

- 体験して気づいたこと

こういうお弁当作りを皆さんが自らやってくれているおかげで ご飯を食べたくても食べれない方などが食べれているのがすごいなと思いました。

一般社団法人 こども食堂プロジェクト at やまと (たまめし食堂 北ランチ)

8月24日(日)



たまめし食堂：質素であっても心を込めて作った食事の提供を通して、お腹も心も温まる、心地よい居場所をつくりたいという想いで たまには みんなで飯でも食べよう!の”たまめし”♪

こども食堂“たまめし食堂 北ランチ”運営活動。食数：160食程度 毎月第4日曜日 お弁当の受取、配達など



中学2年生 男子

- 体験してよかったこと
だれかの役にたてたことがうれしかったです。
- 体験して大変だったこと
あつかったこと。
- 体験して気づいたこと
今回みたいなことをして、困っている人などをすくっていることを知り、今回みたいなきかいがあったらまたチャレンジしたいです。



高校3年生 女子

● 体験してよかったこと

少しですが、大量調理の経験ができてよかったです。たまめし食堂の皆さんと協力してお弁当を作ることができて、そのお弁当によって受け取った人が笑顔になってくれていたら嬉しいと思いました。その助けになる1人としていられることができていたら嬉しいと思いました。

● 体験して大変だったこと

切ったり炒めたりする量が多くて大変でした。できたものを運んだりすることもあると、とても重くてあまり力のない私にとってはとても大変でした。たまめし食堂の皆さんは軽々と持っているようで驚きました。また、火をたくさん使っているのととても暑く、大変でした。

● 体験して気づいたこと

ボランティアを今まであまりしたことがなかったので、今回のボランティアを通して、誰かのためになれることはすごく嬉しいことだと気づいた。私の家もひとり親ですが、それよりもっと生活に困っていて、食事をとることもままならない方がいることを知って驚きました。そのような方々に支援を続け、私も子ども食堂のボランティアに大学生の時から参加し、栄養士になり、子どもたちやそのご家族の助けになりたいと思いました。

たまめし食堂の皆様

先日はボランティアに参加させていただきありがとうございました。初めての参加でしたが、スタッフの皆様のおかげで楽しく活動することができました。また参加させていただければと思います。



高校2年生 女子

● 体験してよかったこと

大量調理の大変さや楽しさを知れたこと。

● 体験して大変だったこと

マスクをして火の側にいるので、熱かったこと。

● 体験して気づいたこと

自分の作業が終わったら、すぐに他の作業に取り組んでいました。周りをよく見ることが時間短縮につながるのかなと思いました。

また参加させていただいたら、うれしいです。ありがとうございました。

皆さん お疲れさまでした。 ありがとうございます！



私は今回はじめてボランティア活動に参加しました。ボランティア活動に参加したことで、得られることが多くありました。まず、出会いです。私は、特定非営利活動法人ワンピースさんとサウンドテーブルテニスクラブさんの活動に参加させていただきました。ワンピースさんでは、知的障がいのある子どもたちとふれあいました。サウンドテーブルテニスクラブさんでは、視界が不自由な方とサウンドテーブルテニスを行いました。ボランティア活動を通してさまざまな人と出会うことができました。また、それと同時に多くの学びを得ることができました。ボランティア活動は自分の知らない世界を知るきっかけになります。自分にとっての新しい世界を知ることで、新しい考え方ができたり、新しい知識をつけることができ、自分の成長につながります。ボランティア活動は、「出会い」「学び」「成長」を得ることができます。また、得ることだけでなく、与えることもできます。ボランティア活動を行うことで、誰かのちからになることができます。今回ボランティア活動に参加し、改めてボランティア活動は素晴らしいものだと思います。

つながり推進課 松井

子育て支援、高齢者のデイサービス、障がいを持つ方の支援など、参加をされた、中・高生のみなさんは、どれも貴重で素敵な体験になったと思います。また、今年は戦後80年になります。



市民活動センターでは、平和の大切さをテーマとした「共育セミナー」を開催させていただきました。私は、平和には思いやりと優しさを持って、相手の考えや立場を理解することが大切だと考えます。今回、中・高生の若いみなさんが、思いやりと優しさをもって活動している様々な人と出会い、その活動を体験したことは、これからの学生生活や将来のためだけでなく、平和の大切さを考えることにもつながったと思います。

担当 白井

昨年を上回るような暑い夏。熱い想いを抱えて「このゆびとまれっ！」に参加してくれた中高生のみなさんとボランティアの参加を快く受け入れてくださった各団体のみなさまに心より感謝申し上げます。

今年度は「乳幼児の保育サロンのお手伝い、こども食堂のお手伝い、視覚が不自由な方の団体の卓球練習のお手伝い、高齢者施設でのお手伝い、発達に課題を持つお子さまの学童保育のお手伝い」と多様なプログラムを用意することができました。「このゆびとまれっ！」に参加してくれた中高生は胸のうちに豊かな感性としなやかに伸びる力を持つ素敵な生徒さんばかりです。

その声をお伝えしたく、小冊子にまとめました。お手に取ってご覧いただければと思います。

関わってくださった全ての方々に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

担当 辺見





追記) 「このゆびとまれっ!」反省会・交流会が9月6日(土)行われました。
皆さま お疲れさまでした! 来年またお会いできるのを楽しみにしております。



発行 大和市民活動センター

2025年(令和7年) 9月1日